

事業所名

放課後等デイサービス りびえーる

## 支援プログラム（参考様式）

作成日

令和7 年

2 月

27 日

法人（事業所）理念		全ての子どもたちの健やかな成長と一人ひとりに合った自立を支援します。										
支援方針		一人ひとりの個性を尊重し、利用者主体の良質なサービス提供をします。 遊びながら学べる療育を支援します。										
営業時間		平日（月～金） 祝日・季節対応	午前 1 0 午前 9	時	00 00	分から	午後 7 午後 6	時	00 00	分まで	送迎実施の有無	あり なし
		支 援 内 容										
本人支援	健康・生活	・心身の健康状態の把握（日常の健康観察・毎日の体温測定） ・健康の増進（集団、個別での運動プログラム） ・「食に対する意欲・関心」を引き出す食育活動の実施（クッキング・栽培・収穫体験など）										
	運動・感覚	・感覚の特性への対応（特性に応じた感覚の導入、触覚・固有覚・前庭覚を特に意識した運動や製作、散歩、いろいろな道具の使い方など） ・姿勢や運動、基本的、応用的動作能力の向上（運動プログラム・体幹トレーニング・柔軟体操・ボルタリング・ビジョントレーニング） ・指先・感覚認知形成の向上（アイロンビーズ・工作・季節の製作など）										
	認知・行動	・感覚や認知の活用（五感・バランスを使った遊びなど） ・知覚から行動への手がかりとなる概念の形成（ブロック遊び、具体的な指示、プログラム・スケジュールの掲示）										
	言語 コミュニケーション	・言語の活用と形成（紙芝居や絵本の読み聞かせ、言葉のキャッチボールで語彙・語想起の向上） ・受容言語と表出言語支援（気持ちの代弁、個別の対応、お当番や自分の思いや気持ちを発表する機会の提供、ソーシャルスキルトレーニング）										
	人間関係 社会性	・アタッチメントの形成（スキンシップ遊びなど） ・一人遊びから協調遊びへの支援（鬼ごっこなど役割のある遊び、ルールのある遊びなど） ・集団参加への支援（苦手意識の軽減、わかりやすいルール説明など） ・社会資源活用（公共施設等での室内外活動、公園遊び・工場見学など）										
家族支援		・面談や連絡帳による日々のやりとりや必要に応じて電話連絡等で連携することにより、家族の不安や心配事を取り除いていきます。						移行支援		・学校や家庭、放課後等デイサービスの様子や支援の取り組みについて情報共有も行い、個々に合った対応を行っていきます。		
地域支援・地域連携		・体育館などの地域の公共施設を利用し、地域資源を活用します。 ・地域の学校や福祉サービスと連携をし、包括的な支援体制を整えます。						職員の質の向上		・事業所内外研修、外部研修へ参加しスキルアップの向上へと繋がっています。		
主な行事等		季節の行事：誕生会、夏の水遊び、季節に応じた活動、ハロウィン、クリスマス会などの実施 食育活動：季節の野菜の栽培、収穫体験、クッキング										